

## 平成28年度第10回教育委員会定例会会議録

1. 日時 平成29年1月27日 午後3時05分

2. 場所 矢巾町公民館1階会議室

3. 出席委員

教育長	越 秀 敏
教育長職務代理者	関 村 昭 子
委 員	大 坊 一 男
委 員	和 田 修
委 員	掛 川 はるな

4. 説明のために出席した職員

学務課長	村 松 康 志
社会教育課長	山 本 功
共同調理場所長	村 松 徹
学務課長補佐	田 村 英 典

5. 開会

午後3時05分、平成28年度第10回教育委員会定例会を開催する旨を宣した。

6. 委員点呼

委員全員の出席を確認し、会議が成立する旨述べた。

7. 会期の決定

1月27日の一日と決定する。

8. 報告

○教育長

それでは4. 報告に入ります。報告第19号「教育委員会の活動について」、事務局より説明をお願いします。

○学務課長

別紙資料に基づき朗読する。

○教育長

報告第19号について、何かご意見、ご質問等ございませんか。

〈全員なしの声〉

9. 議事

○教育長

それでは、5. 議事について本日はございません。

10. その他

○教育長

6. その他に入ります。報告(1)平成28年度矢巾町子ども議会について、事務局より説明をお願いします。

○学務課長

別紙資料に基づき朗読し説明する。

○教育長

報告（1）について、何かご意見、ご質問等ございませんか。

○和田教育委員

矢巾町子ども議会のこれからの方向は継続の形で、小学生を含めてということでしょうか。

○学務課長

町長の話ですと、もっと子どもたちの意見を言いやすいような雰囲気に変えるような形で続けていきたいと述べておりました。

○教育長

継続という考えです。

一時期いろいろな議会の話題がありましたが、矢巾町ではやらないということになっていますので、議会の考え方、町長の考え方にもよると思いますが教育委員会としては、議会や選挙で選ばれた議員の方々がどのようなことをしているのか模擬体験する。あるいは15歳になる方もいますがあと3年たてば選挙権が出る方もいるので、そういう場に少しは触れてみるという意義はあるのではないかと。ただ、質問についてはなかなか難しい、今回はお金のかかることだけで普通聞いてきたら出来ませんとなり、それで終わりですがそうはいかないので。去年はかなり手を付けてそういう質問が出ないようにしたら面白くないことになってしまったので、今回はほとんど入れていないので、入れないとやはりお金のかかること、子どもだけではなく町民もそう思っているのではないかなと、なかなか難しいところもある。ただやはりお年寄りのこととか自分たちの登下校のこととか関係あることも出されたので、それはそれとしてよかったと思う。続けるのは教育委員会が大変だと思う。内容がどういうふうにやっていったらいいのか、経験をさせるという目的で行っているが、その素材となるのが内容なので、大変なところもある。

○大坊委員

何年か継続して、要望したけれどもさっぱり実現しないという話になれば、せっかくやったのという話も出てくるのではないかという気もするが、予算の絡むことだからそう簡単にできるものではないがちょっと心配である。

○教育長

町としても、例えば通学路の安全というような面でグリーンラインを引こうというところ、正直に言えばお金があまりかからないところから手を付けていこうという姿勢はあります。実際やろうとしているようです。ただ、とんでもない建物については、難しいところがあると思っています。

○教育長

報告（1）について、他に何かご意見、ご質問等ございませんか。

〈全員なしの声〉

○教育長

次に、報告（２）町内小中学校における事故・問題行動等の発生状況について、事務局より説明をお願いします。

○学務課長

別紙資料に基づき説明する。

○教育長

小学生の男の子は障害を持っていると考えたほうがいいでしょうね。自分で判断ができないようなところがあるので、盛岡教育事務所のコーディネーターに入ってもらって、女の子にたたかないとか高いところに登らないという２つの約束をして今過ごしていて、だんだんレベルアップしていこうということで小学校でよくあるパターンで情緒障害の方がパニックになって周りに迷惑をかけるというのが結構あって、このままいくと親同士のいさかいになってきて、学校は何もしない、学校が対応を検討中ということ自体に学校の問題がある。学校は多分悪いことだけ伝えているからあちら側が聞き入れないというのは、悪いことだけ言われたらだんだん嫌になってくるはずで、一緒に頑張りましょうというような伝え方のところにもかなり学校の努力が必要になってくるのではないかと、そこを乗り越えられないから学校は対応を検討中要するにお知らせしていない。このままいくと大変なので、いろいろお話し合いをしていくところでございます。この頃小学校で障害を持ってパニックになって、続いて親とのいさかいになることが多いです。病院にかかってみたほうが本来はいいはずだが。今はカッとなると校長室にクールダウンのために連れてくると、だんだん慣れて中学生くらいになると自分でパッと出て、どこかの場所を見つけておいてそこでクールダウンできるようになる。

○掛川委員

毎日のように子どもから話を聞きますが、ここに鉛筆の芯を折ったと記述していますが、クラス全員分の鉛筆の芯を折ったというふうに聞きました。

○教育長

聞く耳持たないというのはあまりにもわかっているから、一緒にやっていきましょうというような姿勢でお伝えしないと親も大変になってしまうので、そのあたりのやり方、今これとこれはやめましょうというシールを貼ったりしてやっている。

○関村職務代理者

家庭の進め方だとは思いますが薬を服用したほうがいいのではないかと。

○掛川委員

この父親は学校行事にもしょっちゅう参加しており授業参観もずっといる。

○和田委員

家庭ではできているのだからやり方だろうというような話し方をされるそうです。要するに学校のやり方が悪い、家では大丈夫だから、そのような考えの父親だそうです。

○教育長

だめなのはだめということと、いつも小言いわれるのと、その辺のメリハリを担当がつけなければ。絶対やっちゃいけない、頑とした姿勢を取らなければならない。

不登校に関してですが、学校に来るだけが能ではないというのがこのところの考え方で、それはそれとして認める必要があると思いますが、今問題になっているのは引きこもりと最初から高校に行かないという子が2人ばかり見えてきているところが、例年とは異なるところである。矢巾北中学校の一部は重大事案を境にして不登校になってきた子ども達がいる、心の中にあの事案は関係していないとは言い切れないのではないかという気がします。引きこもりの可能性が大きい感じのする生徒や怠学で不登校となっている生徒もおりますし、あとは心の葛藤や病気の面など。ここにきて1年生が多くなってきたので気になるところである。小学生も出てきたというのは気になるところである。

○教育長

報告（2）について、他に何かご意見、ご質問等ございませんか。

〈全員なしの声〉

○教育長

次に、報告（3）社会教育課関係事業について、事務局より説明をお願いします。

○社会教育課長

別紙資料に基づき説明する。

1月22日の郷土芸能大会ですが、町内8団体と記載しておりますが当日徳田獅子踊りを行う予定だった徳田保育園の子どもさん達がインフルエンザが蔓延して急きょ欠席という事態が発生いたしましたので、実質町内は7団体の出演となりました。

○教育長

報告（3）について、何かご意見、ご質問等ございませんか。

〈全員なしの声〉

○教育長

次に、報告（4）学校給食共同調理場運営状況について、事務局より説明をお願いします。

○共同調理場所長

別紙資料に基づき説明する。

○関村職務代理者

残菜状況で、矢巾中学校が数値が大きい気がするが特定のものが残るのか毎日残菜が多いのか。

○共同調理場所長

数字だけの状況でございますが、冬場特に矢巾中学校さんは多い状況でございます。以前は矢巾北中学校さんのほうが若干多かった時期もございましたが、この頃矢巾中学校さんが多い傾向があって、例えばクラブ関係で大会がぶつかっていたというときはがたんと落ちるようですが、それだけが原因とは言えない部分がありまして明確なお答えができませんが現場の栄養教諭と実態について調査している状況でございます。

○教育長

残菜っておつゆ缶に残っているものなのか。

○共同調理場所長

全部を足しております。

○教育長

フルーツの皮も足すのか。

○共同調理場所長

皮は違います。汁物、ごはん、おかず。

○教育長

60gはどれくらいのものなのか。

○和田委員

前年度と比較するのではなく、過去5年間の平均値と比較したほうがいいのでは。

○共同調理場所長

数年来という多角的な視野で見えておりませんでしたので、過去の状況も見ながら吐出して増えているところなのか確認させていただきたいと思います。

○和田委員

インフルエンザが12月に矢巾中学校で発生しており、その分生徒が欠席し間に合わないで止められない場合はその分残りますのでその分ではないか。ほかの学校でも同じことがあり得るので。

○教育長

いずれ残菜の多いときのメニューとかそういうことは調べていただいているので、共同調理場としても対応はいただいていると思います。物を大事にするということは考えなくてはいけなし、適正な量かどうかという問題もありますし、何gというのをトータルで出したものを人数で1食で出していただいて10何gというのはほぼないということに近いぐらいではないですか。50を超えてくると何かあるだろうと考えられる。調理場で検討する1つの目安にはなると思います。

○教育長

報告(4)について、他に何かご意見、ご質問等ございませんか。

〈全員なしの声〉

○教育長

次に、行事予定について、事務局より説明をお願いします。

○学務課長補佐

別紙資料に基づき説明する。

訂正がございまして、教育委員会の活動報告の中の平成29年1月24日火曜日の矢巾町いじめ問題対策連絡協議会と記載しておりますが、いじめ対策調査特別委員会でございます。

○教育長

その他ございませんか。

〈全員なしの声〉

○教育長

それでは、以上をもって本日の会議を終了いたします。

(午後3時57分)

以上、会議の概要を記録しここに署名する。

平成29年 2月28日

矢巾町教育委員会

教育長	越 秀 敏
教育長職務代理者	関 村 昭 子
委 員	大 坊 一 男
委 員	掛 川 はるな
委 員	和 町 裕